

中国自然歩道 釈迦堂跡

一体の地藏菩薩があるこの場所にはかつて釈迦堂があった。釈迦堂は 1578 年に大山寺が最も栄えた時期にこの地に建立された 13 ある建築物のうちのひとつである。仏陀の呼び名である釈迦牟尼から名付けられたこの堂は、日本の仏教の三大「塔」（釈迦如来、大日如来、阿弥陀如来）のひとつとして捧げられた。天守閣のように壮大な規模であったと言われている。

度重なる洪水と火事により、19 世紀後半に釈迦堂と近くにあった金剛童子は寂静山に近い大山寺境内の北側に移された。現在の場所には何の名残もなく、諸行無常を現しているかのようだ。